

事業名 CD	0107010303	観光振興事業	
細分化した事業名	各種観光団体補助		
事業担当課室 CD	300400	商工観光課	整理コード

〈事務事業の位置づけ〉

第6次長期総合計画での目的体系	大項目	魅力あふれるまちづくり
	中項目	訪れる人に感動を与える観光業の振興
	小項目	魅力ある観光施策の充実
関連する個別計画等		根拠条例等
関連する事業		

〈事務事業の概要〉

事業の目的 (何のためにするのか)	蕨崎市の観光を支える団体へ支援を行うことで、観光客の誘致を図る。
事業の対象 (誰・何を対象にするか)	市内の観光を取巻く団体、観光客、メディア関係。
これまでの改善経過	支援団体への負担金の見直し。
事業の手段 (どんなやり方(手法)で)	〈実施・運営方法〉 <input type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 () 蕨崎駅観光案内所への補助 1,181千円 ・電話、窓口、パンフレット配布など、問い合わせに対する情報提供 蕨崎駅前広場運営協議会への補助 992千円 ・蕨崎駅前広場の環境美化 その他各種団体への補助 3,585千円 ・パンフレット作成や県や他市と協力してのPR活動
事業の成果 (どのような状態にしたのか、どのような効果を得るのか)	観光客の増加。 観光客の利便性の向上。

〈投入費用及び従事職員の推移〉

		20年度	21年度	22年度
A	事業費 (千円)	3,703	3,805	5,758
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	市債			
	その他	600	600	
	一般財源	3,103	3,205	5,758
B	担当職員数(非常勤 職員 E) (人)	0.20	0.41	0.20
C	人件費(平均人件費 × E) (千円)	1,382	2,797	1,344
D	総事業費(A+C) (千円)	5,085	6,602	7,102
* 参考	H22)市民1人当りの事業コスト	306 円	H22)市民1人当りの行政サービス費用	599,027 円

注 1)担当職員数には、1年間に当該事業に携わった職員数(職員と非常勤嘱託職員を区分)を他事業と按分して記載してあります。

注 2)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、20年度(6,909千円)、21年度(6,823千円)、22年度(6,719千円)を使用しています。

注 3)一般財源とは用途の制限のない財源で、市税(市民税・固定資産税など)、地方交付税(市町村均衡を図るための交付金)などを言います。

〈事業を数字で分析〉 この欄では、事業の目指すべき方向を分りやすく示すため、数値指標を設定し実績数値を記入しています

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			20年度	21年度	22年度
活動指標	支援団体数	(団体)	10	8	11
成果指標	観光客数	(人)	422,000	621,500	602,100
	観光案内所案内件数	(件)	7,288	8,283	7,886
	観光客伸び率	21年度観光客数/20年度観光客数	0.98	1.47	0.96
効率指標	観光客一人当たりコスト (算出式数値)	総事業費/観光客数(円) (6,602千円/621.5千人)	12	11	12

〈事業を自己評価〉

妥当性 (事業の手段・活動は妥当ですか)	<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない 各団体において、パンフレット等を作成するなどの活動を行っている。 南アルプスを世界自然遺産に登録するための協議会(山梨・長野・静岡)など、各団体とも積極的な活動を展開している。		
成果 (意図した成果が上がっていますか)	<input type="checkbox"/> A 上がっている <input type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input checked="" type="checkbox"/> C 上がっていない 長引く経済不況による影響で、旅行や観光消費を抑える傾向が続いたため、観光客及び観光案内所案内件数に若干減少が生じた。		
効率性 (コストを見て効率的ですか)	<input type="checkbox"/> A 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ効率的である <input type="checkbox"/> C 効率的でない 他市町村や団体と連携を図ることで低コストでの事業実施が可能となる。 単位コストの低減。		
総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成		
今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 重点化(コストを集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 手段の改善(実施主体や実施の手段を代える) <input type="checkbox"/> 効率化(結果単位あたりのコストを下げる) <input type="checkbox"/> 簡素化(事業の規模や内容を縮小する) <input type="checkbox"/> 統廃合(他の事業と統合する、または廃止する) <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり		
改善・改革案	改善・改革の概要・方向性(いつまでに、どういう形で具体化するのか)		
	(1) 中長期的 各団体の内容・効果を検討する。	(2) 24年度 事業内容を見直し、さらなる充実を図る。	(3) 23年度 事業の充実を図る。
	22年度の改善計画 無し		
22年度の改善結果 無し			
市民(地域)や民間、他官庁との役割分担(市民との協働の視点などから考えられること) 他市町村や各種団体との連携により、相互の役割分担が図られる。			
課長所見	魅力ある観光スポットの紹介を、他市町村と連携し広域的及び効率的にPRし相乗効果を図るとともに、利用者の便宜を図った。		

事業名 CD	0107010303	観光振興事業	
細分化した事業名		韮崎市観光協会	
事業担当課室 CD	300400	商工観光課	整理コード

〈事務事業の位置づけ〉

第6次長期総合計画での目的体系	大項目	魅力あふれるまちづくり
	中項目	訪れる人に感動を与える観光業の振興
	小項目	魅力ある観光施策の充実
関連する個別計画等		根拠条例等
関連する事業	韮崎市観光協会補助	

〈事務事業の概要〉

事業の目的 (何のためにするのか)	韮崎市の観光をPRするための中心的な役割を担う団体として、官民（会員）一体となった事業を展開する。
事業の対象 (誰・何を対象にするか)	観光客
これまでの改善経過	観光協会主催の新規事業の立ち上げやオリジナルグッズの製作。 総合パンフレットの全面改訂。
事業の手段 (どんなやり方(手法)で)	〈実施・運営方法〉 <input type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 () ・観光パンフレットにて、個々の店をPR。 ・「駅からハイク」(JR東日本と提携し駅からハイキングで名所を廻るツアー)にて首都圏からの来訪者にPR・お祭りに参加してもらう。 ・ホームページのリニューアル・韮崎観光PR。 ・各種イベントの実施。
事業の成果 (どのような状態にしたのか、どのような効果を得るのか)	観光客の増加・観光に携わる人の所得増加。

〈投入費用及び従事職員の推移〉

		20年度	21年度	22年度
A	事業費 (千円)	5,572	9,637	8,694
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	市債			
	その他	1,272	3,586	3,379
	一般財源	4,300	6,051	5,315
B	担当職員数(非常勤 職員E) (人)	0.93	0.71	0.40
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	6,425	4,844	2,688
D	総事業費(A+C) (千円)	11,997	14,481	11,382
*参考	H22)市民1人当りの事業コスト	398 円	H22)市民1人当りの行政サービス費用	599,027 円

注 1)担当職員数には、1年間に当該事業に携わった職員数(職員と非常勤嘱託職員を区分)を他事業と按分して記載してあります。

注 2)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、20年度(6,909千円)、21年度(6,823千円)、22年度(6,719千円)を使用しています。

注 3)一般財源とは用途の制限のない財源で、市税(市民税・固定資産税など)、地方交付税(市町村均衡を図るための交付金)などを言います。

〈事業を数字で分析〉 この欄では、事業の目指すべき方向を分りやすく示すため、数値指標を設定し実績数値を記入しています

	指標名	指標の算出方法	実 績 値		
			20 年度	21 年度	22 年度
活動指標	イベント経費 宣伝費 レンタサイクル貸出数	(件)	3,406 991 21	3,852 4,079 21	2,848 4,293 21
成果指標	観光客数 アユ釣り大会参加者数 アユのつかみ取り大会参加者数 観光客伸び率	(人) (人) (人) 22 年度観光客数/21 年度観光客数	422,000 0.86	621,500 45 107 1.47	602,100 — 98 0.96
効率指標	観光客一人当たりコスト (算出式数値)	総事業費/観光客数(円) 11,382 千円/602.1 千人	28.43	23.3	18.9

〈事業を自己評価〉

妥当性 (事業の手段・活動は妥当ですか)	<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない 韮崎市の PR のため、イベントや宣伝は必要である。		
成果 (意図した成果が上がっていますか)	<input type="checkbox"/> A 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない 事業費が削減されたことにより、経費の見直しをすることができた。 はとバスや(社)やまなし観光推進機構とタイアップをすることにより、着地型旅行の立案をすることができた。 イベントでの集客は、対前年比微増。		
効率性 (コストを見て効率的ですか)	<input type="checkbox"/> A 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ効率的である <input type="checkbox"/> C 効率的でない 単位コストの低減。		
総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成		
今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 重点化(コストを集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 手段の改善(実施主体や実施の手段を代える) <input type="checkbox"/> 効率化(結果単位あたりのコストを下げる) <input type="checkbox"/> 簡素化(事業の規模や内容を縮小する) <input type="checkbox"/> 統廃合(他の事業と統合する、または廃止する) <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり		
改善・改革案	改善・改革の概要・方向性(いつまでに、どういう形で具体化するのか)		
	(1) 中長期的 会員の拡大と事業の充実を図る。	(2) 24 年度 観光協会組織・事業のさらなる充実を図る。	(3) 23 年度 観光協会組織・事業の充実を図る。
	22 年度の改善計画 観光PRグッズの制作・販売を行う。 はとバス及び(社)やまなし観光推進機構とタイアップを行うことによる、着地型旅行の立案。		
22 年度の改善結果 観光PRグッズの制作・販売を行った。 はとバスや(社)やまなし観光推進機構とのタイアップにより、着地型旅行4つを立案し、8回を催行した。 観光協会のホームページをリニューアルした。			
市民(地域)や民間、他官庁との役割分担(市民との協働の視点などから考えられること) 観光協会会員との協働により、観光PRの充実を図る。			
課長所見	はとバスややまなし観光推進機構とタイアップし魅力ある観光ツアーを積極的に展開し、観光協会のHPを改修するなどしてPRに努め地域の活性化に貢献できた。		